

JENESYS2023 ASEAN 同窓生のオンライン訪日プログラムの記録 (テーマ：日本語教育)

1. プログラム概要

【目的・概要】本プログラムは、JENESYS 事業で訪日経験のある ASEAN 地域の同窓生を対象に、「日本語教育」を専門分野としたウェビナー、バーチャル視察、専門家との意見交換、参加者間ディスカッションと交流プログラムを通じて、(1) 日本への更なる理解促進、(2) ネットワークの強化、(3) 同窓生による日本と ASEAN の友好・協力に資する活動の活性化を目的に 2023 年 9 月 25 日から 10 月 4 日（その内 9 日間）の日程で実施しました。

【参加者・人数】

ASEAN 諸国及び東ティモールの同窓生（2015 年度～2022 年度の参加者） 計 54 名
（内訳）インドネシア 12 名、カンボジア 3 名、シンガポール 1 名、タイ 4 名、フィリピン 13 名、ブルネイ 2 名、ベトナム 3 名、マレーシア 11 名、ミャンマー 3 名、ラオス 1 名、東ティモール 1 名

【バーチャル訪問地】

東京都、愛知県

【日程】

9 月 25 日（月曜日）【オリエンテーション】、【参加者間交流】自己紹介・役割分担等確認

9 月 26 日（火曜日）【意見交換】参加者自身の日本語学習経歴と自国での学習環境について

9 月 27 日（水曜日）【講義・質疑応答】「ASEAN における日本語教育」

講師：元 JICA 海外協力隊 日本語教師 長田 由梨乃 氏

9 月 28 日（木曜日）【学校交流】南山大学

9 月 29 日（金曜日）【授業体験】日本語 講師：JICE 中部支所 津田 晴香 氏

9 月 30 日（土曜日）【和食体験】愛知県名古屋市の名物料理「なごやめし」の紹介と作り方

講師：蔵クッキング 代表 浅野 優子 氏

10 月 2 日（月曜日）【プレゼンテーション・交流】

「JENESYS 参加経験及び日本留学中の生活について」

JENESYS 同窓生プレゼンター：

タンヤジャラットポーン・ラッチャグリット 氏

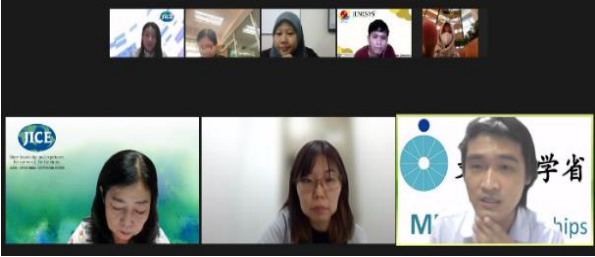
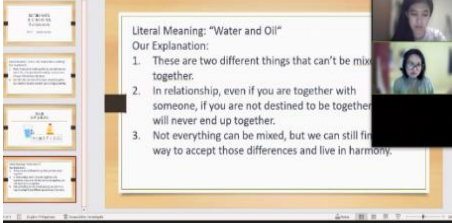
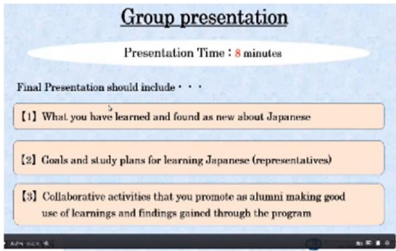
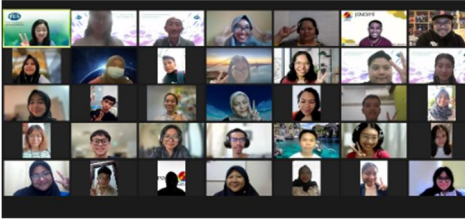
（注：JENESYS2023 ASEAN 同窓生のオンライン訪日プログラム（テーマ：スタートアップと合同実施）

10 月 3 日（火曜日）【ワークショップ】

10 月 4 日（水曜日）【外務省挨拶】外務省アジア大洋州局地域協力室室長 高水 英郎 氏

【報告会】再訪日成果・アクション・プランの発表

2. 記録写真

	
9月25日【オリエンテーション】	9月26日【意見交換】
	
9月27日【講義・質疑応答】 「ASEANにおける日本語教育」	9月28日【学校交流】南山大学
	
9月29日【授業体験】日本語	9月30日【和食体験】「なごやめし」の作り方
	
10月2日【意見交換】JENESYS 同窓生の プレゼンテーションを視聴	10月3日【ワークショップ】
	
10月4日【報告会】再訪日成果の発表	10月4日【報告会】記念撮影

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ インドネシア 社会人（2021 年度、大学生）

この JENESYS 同窓会プログラムに参加し、国際的な経験がさらにできたことをとても嬉しく思います。9 日間にわたるプログラムは、毎日とても興味深い情報がたくさんあり、また、国籍、人種、文化の異なる多くの人々との出会いや学びがありました。このプログラムは本当に楽しかったです。オープンな心で日本文化を学びながら、日本語の学習にも今後も熱心に取り組みたいと思います。

◆ マレーシア 社会人（2018 年度、大学生）

プログラムを通して、日本の文化、ことわざ、日本語の勉強方法などを学びました。海外の同窓生や、日本の大学生と交流する機会ができたことをうれしく思います。プログラムの全てに大変満足しています。今後も多くのプログラムの開催を期待しています。

◆ インドネシア 社会人（行政官）（2022 年度、社会人 行政官）

日本語教育に関する前向きで様々な考え方、新しい知識や情報、そしてやる気を新たに持つことができました。JENESYS 同窓会のプログラムに参加できたことをとても嬉しく思います。まだ私の日本語は流暢ではないかもしれませんが、子どもたちには幼い頃から日本語を学ぶことを勧めたいと思っています。やはり、日本は ASEAN 諸国にとって兄のような存在です。さらに、地理的にも、ASEAN 諸国が友好と相互理解の精神で互いに協力することが求められます。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

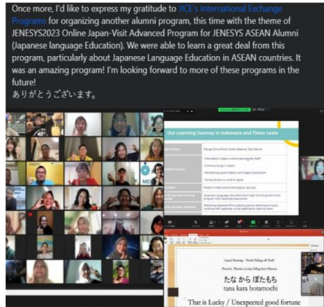
◆ プレゼンター役を務めた同窓生

グループ別プログラムの時間に、日本に興味を持っている方々と交流し、新しい知識をたくさん得ることができました。また、発表や海外の参加者との交流を通じて、ますます日本について学びたいという気持ちが強まりました。

◆ 和食講師

とてもいい時間を共有させていただき、心より感謝しております。初めての経験で、どうなることかと緊張しておりましたが、皆さんからいただいた感想で、喜んでいただけたのだとわかり、大変うれしく思います。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

 For this session, we talked with the Nanzan University students! What I like most about this session is when someone shared to us the meaning of Frog-ization! 蛙化現象 "frog-ization" 好きな人が、自分のことを好きになってくれたのに、きもちわるくかんじること → falling out of love You like someone. But once that person likes you, you feel him/her creepy. Yes! Such word exists in Japan	 Once more, I'd like to express my gratitude to [name] for organizing another alumni program for JENESYS ASEAN Alumni (Japanese language Education). We were able to learn a great deal from this program, particularly about Japanese Language Education in ASEAN countries. It was an amazing program! I'm looking forward to more of these programs in the future! ありがとうございます。 That's a Lucky / Unexpected good fortune
2023 年 9 月 28 日（Instagram） このプログラムで南山大学の学生たちと交流しま	2023 年 10 月 4 日（Instagram） 今回は私たち同窓生を対象に日本語教育というテ

した。一番興味をもったのが、彼らの世代でよく使っている「蛙化現象」(注)という言葉と意味を教えてもらったことです。このような言葉が日本にはあるんですね。 (注：蛙化現象とは、好意を抱いている相手が自分に好意を持っていることが明らかになると、その相手に対して嫌悪感を持つようになる現象を指す心理学用語。)	一マのオンラインプログラムを開催してくださいました。多くの学びがありました。特に ASEAN 諸国での日本語教育について学べたこと、素晴らしい機会となりました。このようなプログラムが将来、もっと開かれることを期待しています。
---	---

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、愛知県 全7グループの発表一例

	
【オンライン訪日中の学び】 方言やスラングを学びました。オノマトペ（音や声、動作などを音声化して示す方法）もよく使われているので、講義で学んだ以外の言葉も調べてみました。同窓生の講義を通じて、様々な行事や活動に参加しながら関連する日本語を学ぶことで、言語スキルが向上し、幅広い知識を得ることができました。また、自分自身と仕事において向上心を持つことの重要性についても学びました。 【日本語学習の目標・計画】 学習の方法はテキスト、日本語の歌、アプリ、アニメを見るなど多岐にわたります。関心を持ち続けられる方法で学ぶことが大切です。また、日本人や自分と共通の興味を持つ人と交流することで、学習がより充実すると思います。 【アクション・プラン】 日本人留学生や、日本語が母国語である日本語話者の人々とパートナーを組み、会話・勉強する「パートナーシップ制度」を通じて、会話の練習方法を提供できるように働きかけます。また、コミュニティで日本語を学べる環境を整備したいと考えています。	【オンライン訪日中の学び】 アニメや漫画がきっかけで日本語を学んでいる人が多く、また、もっと学びたいと思っている人がたくさんいました。（南山大学での日本人）大学生との交流では会話力に限界を感じつつも、理解を深めようと積極的に会話するように努めました。日本料理（なごやめし）は自国の素材を使用して作り上げるアジアの料理の1つと知りました。（日本で生活している）同窓生のプレゼンテーションでは、行事への積極的な参加を通じて、日本語スキルの向上、日 ASEAN 関係の向上に貢献できることを学びました。 【日本語学習の目標・計画】 日本語学習の目的は、日本へ旅行、仕事、または教師として活動するためです。学習方法は、コミュニティやオンラインで日本の友人を見つけて交流する、日本語学校で学ぶなど様々です。 【アクション・プラン】 Facebook などの SNS で、日本語教育を促進する動画を共有します。教師をしている同窓生は、ワークショップやイベントなどで今回の学びを生徒に共有します。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）